令和6年12月作成
北海道農政事務所生産経営産業部事業支援課

特定非営利活動法人　札幌市福祉生活支援センター
フードバンク札幌運営委員会（札幌市）

仕分けされた食品と寄付された野菜

担当する千葉さん

【組織の概要】

- 団体名：フードバンク札幌運営委員会
- 所在地：札幌市北区
- 代表者：米倉　美津穂
- 活動人数：職員５名とボランティア、就労支援事業所等の利用者
- 活動開始時期：2012年4月
- 取扱品：加工食品（常温）、災害備蓄品、飲料・農産物など
- 提供の条件：賞味期限が原則１か月以上の物、短いものは都度要相談

◇【フードバンク活動を始めた経緯】

◆ 平成24年に青少年自立支援ホームを設立したところ、マスコミで活動が取り上げられ、全国から食料等の支援物資が届いた。届いた食品をホームレス支援団体や障害者支援団体、こども食堂に提供したことをがきっかけ。
平成28年から本格的にフードバンクとしても活動を始めた。

◇【 活 動 の 概 要 】

◆ こども食堂や地域食堂、ホームレス支援団体、シェルター、障害者・高齢者支援団体、児童養護施設等の計28団体と、社会福祉協議会や地域包括支援センター、区役所から紹介があった個人に食品を提供している。

【取組む際に生じた課題】

◆ 企業等からの食品の提供のうち、約5割はスタッフが回収（回収は要相談）。集荷・一部配達のためガソリン代、ボランティア謝金、倉庫の家賃等の負担が大きい。

◆ 物価高騰により、食品の提供数が減っている。コロナ禍は、行き先がなくなったお土産用の商品や給食向けの食品が提供されていたが現在はそれがなくなり、円高・異常気象による物価高により、以前のように食品を集めるのが厳しい状態が続いている。

フードバンク札幌運営委員会の食品取扱いのフロー図

【今後の展望】

◆フードバンク札幌運営委員会を頼りにしている支援先の団体・個人の生活困窮者の方々のために、今後もできる限り活動を続けていきたいと考えている。